

令和6年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

山形県立庄内総合高等学校 通信制の課程

学校教育目標	1 計画的な学習を通して、自主性・自立性を養い、実践力を高め、自らの道を切り開くことができる「たくましい力」を身につけさせる。 2 豊かな心を育み、個性の伸長を図りながら、他人と協調していく生活態度を育てる。 3 勤労の意義を理解し、積極的に社会の進展に寄与する態度を育てる。 4 心身の健康管理に努めさせ、自己実現のための強い意志と持続力を培う。
学校運営方針	1 地域の期待に応え、評価と公開に基づく透明性のある学校づくりを推進する。 2 教員一人ひとりが積極的・主体的に学校運営に参画できる組織運営と教職員間の協力体制を構築する。 3 通信制の特色を生かした学習指導や、生徒の多様な能力・適性に応じた指導の充実を図る。 4 教員の研修・研究の機会を積極的に設け、実践的指導力の向上を図る。 5 教職員の倫理観の向上を図るとともに、働き甲斐ややりがいを持って教育に専念できる環境づくりを目指す。

達成度	A	達成
	B	おおむね達成
	C	やや不十分
	D	不十分

自 己 評 価						学校関係者評価	
	項目	具体的方策	取組み状況・分析	達成度	次年度への改善点	意見・要望	評価
1	学校運営	・学校運営方針等の共通理解、協力・協働的体制の構築 ・学校運営におけるPDCAのマネジメントサイクルの機能化 ・保護者・地域が期待する教育活動への取り組み	・職員の協力・協働体制は概ね実現している。 ・PDCAサイクルは概ね機能している。 ・HPをリニューアルし、ブログを通じて生徒、保護者、地域の方々に通信制の学びの様子を発信した。	B	・学校評価や生徒・校務の実情を踏まえ、PDCAサイクルを活用した業務改善および学校運営の改善に組織的に取り組む。 ・「とどろき通信」やHPの活用等、有効な情報発信について研究・実践を行う。	・庄内地域だけでなく、県内他地区からも「高校卒業」の最後の砦として期待されている。 ・アンケートから満足度が高いことが評価できる。 ・通信制について、様々な学びがあること等さらなる地域への情報発信をしてほしい。	A
2	学習指導	・個々の生徒の状況に応じた学習指導の工夫 ・学習環境の改善 ・課題や評価の在り方の研究・改善 ・目標卒業生45名以上、単位修得率45%	・生徒の学習進捗状況を確認しながら、学習活動を進めるための助言や支援を丁寧に行った。 ・卒業生48名(目標達成率107%)、単位修得率53.7%(目標達成率119%)となった。努力賞表彰者数は70名となり昨年度よりも大幅増となった。(R5年度49名)	A	・レポート提出やテスト受験について、余裕を持った取り組みを促すとともに、学習活動の計画実現に向けた自己管理について研究・実践を行う。 ・通信制教育課程におけるICTの活用等について研究を進め、実現に向けた取り組みを行う。	・生徒理解に努め、情報を共有し、個々の生徒を成長させる体制があると感じられる。 ・レポートやスクーリングの出席日数などの仕組みが分かりにくい。 ・ICT等を活用し学習活動について自己管理がしやすくなるようにしてほしい。	B
3	進路指導	・進路達成に向けた生徒一人ひとりの能力の伸長 ・外部機関との連携を含めた組織的なキャリア教育 ・生徒、保護者の面談と適切な助言	・個々に応じた適切な進路指導を行った。 ・外部機関と連携し、キャリアカウンセリング、インターンシップ、ガイダンス等の就労支援を行った。 ・生徒や保護者への情報提供を行い、より丁寧な説明が必要な場合は、三者面談等を行った。	B	・ガイダンス等の参加対象の範囲を広げ、進路に関する理解や意識を高める機会を増やす。 ・特別な支援を要する生徒や社会に出ることに消極的な生徒への支援体制について継続して研究・実践を行う。	・生徒の進路が多様な中で工夫して指導されている部分が評価できる。 ・生徒及び保護者を対象とした様々なガイダンスなどが企画されていて良い。 ・多めに進路指導の時間をとることで生徒の興味・関心も向上するのではと思う。	A
4	生徒・保健指導	・特別活動等への参加状況の改善 ・全職員が共通意識を持ったルール・マナーの指導 ・生徒の悩みや取り巻く環境の把握と相談等への適切な対応 ・特別な支援を要する生徒への組織的な対応 ・安全教育の推進	・特別活動等の体験的な学びの意義を認識させ実施したことで、高い満足度を得ることができた。参加者は増加傾向にある。 ・生徒の心身の状況について、職員間で情報共有を密に行い、適切な指導・支援を行った。 ・薬物乱用やSNS利用等、生徒の安全に関する啓発や講話を行い、安全意識の向上に努めた。	A	・引き続き、特別活動等の体験的な学びの意義の認識を図るとともに、生徒の実情に即した特別活動等の内容について研究・実践を行う。 ・特別な支援を要する生徒への組織的な支援の充実を図る。 ・健康診断の再検査受診率の向上を図る。	・定通総体、生活体験発表大会での成績が大変すばらしい。 ・大きな事故・事件・病気に巻き込まれることなく、学校生活を送っている様子が伺える。 ・いろいろな生徒が楽しめるような学校行事がありとても良い。	A
総 括		・スクーリングへの参加人数、レポートの提出数、テスト受験数が大幅に増加し、昨年・一昨年以上に活発な学習活動が行われた。 ・個々に応じた適切かつ丁寧な対応と安心安全な学習環境の整備に努め、さらなる学習活動の活発化と単位修得率の向上を目指す。 ・生徒会行事や学校行事の意義や重要性を伝えながら、参加しやすい雰囲気づくりを積極的に進め、参加者数と満足度を引き上げる。 ・庄内総合高校の通信制として3年が経過した。再度、主体的な学びを実現するための学校運営や教育課程について、教育目標・学校評価・実情等を踏まえ研究・改善を進める必要がある。					